

## 平成29年度事業報告について

当協会は、平成25年4月の公益財団法人化に合わせ、「新法人の体制再構築」「がん検診事業」および「指定管理受託事業」の3つのあるべき姿について、5年間の第1次中期事業計画を作成し事業展開のガイドラインとしてきた。平成29年度はその最終年度であり、目標達成のため積極的に各事業に取り組んだ。

主な事業として、がん検診は前年度のがん検診指針の変更による受診者の減少対策のため、市町のがん検診現場での協力や受診者の新規開拓、受診履歴のある小規模事業所などに向けた啓発活動を意欲的に行ったが、成果を十分に上げることはできなかった。次年度からは実態調査などにより的確な勧奨が必要だと考える。事業を担う技術スタッフについては、環境や体制の変化に対応できるよう専門的な知識の習得や業務の効率化、サービスの向上に努めた。

次にふくい健康の森管理運営事業に関しては、県民健康センターは事業内容の見直しの検討、けんこうスポーツセンター・生きがい交流センターは施設改修に伴う新たな事業の取組みを実施した。県民健康センター事業については、新規の健診事業所の開拓を行い、受診者のニーズに合った健診機関を目指すことに取り組んだ。また、けんこうスポーツセンターや生きがい交流センターは、施設間の連携事業に重点を置き、協会の特性を活かした事業展開をして利用者増を目指した。具体的には、従来行われていた「バランス改善教室」を「完全個別トレーニング」と名称を変更し、減量月間に組み入れて実施した。そのメニューを県民健康センター受診者にも促し、県民健康センターとスポーツセンターの連携事業の強化も図った。また、利用者のニーズに合った有料教室を取り入れ、利用者増につなげた。更に平成28年度のテニスコートリニューアルをとらえ、協会主催の「健康の森CUPテニス大会」を実施した。生きがい交流センターは、ここ数年の利用者の減少傾向に歯止めをかけるため、広報事業の強化、既存事業の見直し、新規事業の実施に取組み、固定利用者の確保と新規利用者の獲得に努めた。また、利用者の安全安心向上のため浴室床タイル総張替工事が平成30年2月下旬から年度末まで行われたが、それに伴う”リニューアルオープン”の周知に努め「健康の森温泉」をアピールした。

森全体としての取組みとしては、季刊誌“健康の森通信”をはじめチラシ等の配布、ホームページを活用した3施設の紹介、利用者感謝デー「けんもりふえすた」の開催や集客力のある民間イベントへの協賛・協力を通して、ふくい健康の森の周知度向上と利用促進を図った。

次期中期事業計画については、第1次計画の実施状況の検証、分析を行うとともに、国の方針や施設の老朽化等、協会を取り巻く環境が著しく変化し状況が厳しくなることを勘案しながら、継続事業の見直しや新規事業を加え、第2次中期事業計画(平成30年度～平成34年度)を策定した。これに併せ、就業規則など組織規程の見直しも行き、経営管理体制の強化を図った。

### 1. 生活習慣病予防・健康管理に関する事業

がん対策基本法に基づく、県民全体のがん予防を推進するため、検診車の派遣等によるがん検診、県民健康センターでのがん検診を含めた健康診査事業を行い、一元的管理による効果的ながん対策に取組み、必要な情報の提供等を行った。

#### (1) 29年度で行った主な中期事業計画の取組み

##### ア がん検診事業（中期事業 No.1, 20）

「肺がん検診完全デジタル化移行」に伴う体制の整備

事業経費 1, 384千円

- ・胃がん・肺がん検診読影パソコンの更新 ノートPC36台 デスクトップPC5台 計41台
- ・肺がん検診車デジタル化移行に伴う、胸部X線検診車9号車(フィルム)の廃車 12月完了

##### イ がん検診事業（受診者拡大）（中期事業 No.2）

小規模事業所に対してがん検診受診の促しや大腸がんの受診率向上の為に市町と連携して

受診勧奨や啓発イベントでのブースの出展に取り組む等、がん検診受診率の向上を図った。

事業経費 154千円

- ・出前検診（1/16 福井ヤクルト 他）
- ・働く女性のがん検診受診者拡大(福井県と連携)（12/16 アピタ敦賀 他）
- ・市町大腸がん受診者拡大モデル事業 あわら市と美浜町実施 計183名受診
- ・子宮がん・大腸がん検体回収事業

ウ がん患者サポート事業、がん征圧キャンペーン事業（中期事業 No.12,14）

がん患者とその家族、介護者等の心身の健康と社会生活の支援のための体制づくりと的確なサポートを行った。

事業経費 3,067千円

- ・がんサロンの開設および周知、ケア帽の寄付、患者会との連携強化
- ・リレー・フォー・ライフ・ジャパン ふくい開催
- ・ピンクリボンキャンペーンの実施

エ がんに関する広報事業（中期事業 No.13）

がん検診の重要性・必要性について幅広い広報を行った。

事業経費 1,310千円

- ・啓発用資材の配布（乳がん自己触診手袋、ネーム入りボールペン等）
- ・ショッピングセンター等でのイベント開催（10/7 北陸ヨガフェスタ 2017IN 芝政）

オ 施設・設備保守事業（中期事業 No.56）

がん検診・健康診査事業に係る施設・設備等の保守などを実施し、事故ゼロ・業務停止ゼロを目指し円滑な事業運用に努めた。

事業経費 59,764千円

- ・検診車搭載機器(胃X線機器・肺X線機器・乳X線機器)スポット点検 他 計16台
- ・検診車車体整備(車体定期点検、車検 等)
- ・県民健康センター検査機器保守点検・スポット点検 計7台

## (2) がん検診事業（中期事業 No.1）

がん検診事業は、当協会が実施する集団による胃・大腸・肺・子宮・乳の各がん検診事業、医療機関における胃・大腸・肺・子宮・乳各がん個別検診事業を実施した。がん検診受診者数は 174,184 人で前年度(189,194 人)と比較して7.9%の減少となった。

項目		29年度	28年度	比較増減	比較増減率 (%)	
合計	集団	地域	103,183	114,811	△ 11,628	△ 10.1
		職域	5,906	6,035	△ 129	△ 2.1
	個別	65,095	68,348	△ 3,253	△ 4.8	
総合計		174,184	189,194	△ 15,010	△ 7.9	

## (3) がん検診受診勧奨事業（中期事業 No.3）

県内市町のがん検診の未受診者対象者に電話等で受診の勧奨を実施した。

29年度：23,284人（28年度 22,829人）

## (4) 健康診査事業(県民健康センター)（中期事業計画 No.4 他）

生活習慣病予防を主体とした人間ドックや各種健康診査を実施した。

29年度(人)	28年度(人)	比較増減	比較増減率(%)
5,051	4,904	147	3.0

## (5) 無料健康相談・無料健康講座事業(県民健康センター)

一般県民を対象に県民健康センターや生きがい交流センターで健康・ストレス・病気等に関する講座や相談を実施した。

29年度： 437人 (28年度 596人)

## (6) 啓発・キャンペーン事業

ア がん征圧月間(9/1~30)・結核予防週間(9/24~30)の取組み

他団体や企業との連携協力による、がん征圧月間広告等の掲示依頼やパネル展開催等活動、マスコミを利用した広告、広報活動を実施した。また、がん征圧月間ポスターや結核予防ポスター等を関係機関に配布した。

・結核予防週間 鯖江アルプラザ街頭啓発 9/23 エルパ街頭啓発 9/24 他

イ 県、市町との連携

県が開催する健康増進イベントへの協力および広報活動の連携や市町が開催する健康フェア等、疾病予防と健康づくりの啓発活動に協力した。

- ・福井県立図書館「シニアいきいきセミナー」 5/14 健康ウォーキング講義と実践講師
- ・坂井市健康フェア 10/9 パネル貸出し
- ・越前町いきいき健康フェア 10/28 動作解析を実施
- ・福井市健康フェア 11/3 大腸がん検診について
- ・あわら市食と健康フェア 11/11 パネル貸出し
- ・福井県立図書館フェア 2/24

ウ 関係機関、団体等との連携

医師会やピンクリボンの会(ピンクリボンキャンペーン)、がん克服の会などの活動に積極的に参画、協力を行った。

・乳がん検診普及啓発ライトアップ 福井駅ビル ハピリン アオッサ 10/1~2

エ 日本対がん協会グループ福井県支部としての活動

・リレー・フォー・ライフ・ジャパン ふくい 9/2~3

参加チーム 43チーム 参加者 750人(内 サバイバー 120人)

寄付額 478,867円 (28年実績 472,365円)

オ 講演会・研修会の開催

市町が主催する講演会に講師派遣をするほか、従事者を対象に専門的な研修会を開催し、専門分野に関する情報提供した。

- ・医師講演 23回(住民対象 11回、企業等各種団体 12回)
- ・従事者研修会(市職員対象) 嶺北・嶺南 各2回 6月、12月

## 2. 健康づくり・体力づくり・生きがいがづくり推進事業

「ふくい健康の森」の施設を活かし、県民の健康づくり・体力づくり・生きがいがづくりを一体的に推進するための各種教室の開催や施設の提供を行った。

### (1) 29年度で行った主な中期事業計画の取組み

#### ア 個別運動指導事業(2拠点連携事業)(中期事業 No.29)

県民健康センターとスポーツセンターの連携により、受診者の体力づくりと生活習慣病予防を推進した。

事業経費 722千円

- ・3ヶ月減量講座開催 4期 受講者 178人 (28年度 170人)
- ・個別完全トレーニング 受講者 199人

#### イ 体力づくり教室事業(2拠点連携事業)(中期事業 No.31)

生きがい交流センター利用者にスポーツセンター施設機能の周知と運動教室への参加を促し、利用者増を図った。

事業経費 0千円

- ・ポールウォーキングと骨盤姿勢リセット教室 受講者 24人 (28年度 20人)

#### ウ 利用促進事業(中期事業 No.33, 36)

企業、学校等への勧誘および周辺地域への出前宣伝等により利用者の拡大を図った。また、協会主催の「テニス大会 けんもり CUP」を開催し、公園の利用促進を図った。

事業経費 714千円

- ・学校等への勧誘によるスポーツ公園の利用促進 小中高校 205校 (28年度 41校)
- ・企業等への勧誘 15件
- ・回数券・定期利用券販売促進 2回
- ・テニス大会の開催(けんもり CUP) 参加者 72人

#### エ 再来者(リピーター)拡大事業(中期事業 No.40)

生きがい交流センターでの回数券の特別販売等、顧客要望に対する的確なサービスの提供を行い、リピーターの拡大を図った。

事業経費 589千円

- ・回数券特別販売期間の設置 5回
- ・回数券購入者対象にスタンプカード発行
- ・年始温泉入浴者対象にくじ引きサービス
- ・秋の還元祭の開催(11月の毎週日曜日) 4回

### (2) 健康増進各種教室・運動障害回復訓練事業(県民健康センター)(中期事業計画 No. 5, 6)

生涯を通じて積極的な健康づくりのために、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活習慣の確立をめざして、リラクゼーション教室、ヘルシー栄養教室等の健康増進各種教室および地域リハビリテーション事業(地域支援事業)の運動障害回復訓練事業を実施した。

- ・健康増進各種教室 215人(28年度 234人)
- ・運動障害回復訓練 3,022人(28年度 3,638人)

### (3) 運動プログラム指導事業(けんこうスポーツセンター)(中期事業 No. 29 他)

個人の健康づくりへの支援として、個別運動プログラムの発行、体力テストおよび3か月減量講座等を実施し、きめ細かなアドバイスを行った。

- ・運動実践指導 利用人数: 9,911人(28年度 10,328人)

#### (4) 生きがいがづくり推進事業(生きがい交流センター) (中期事業 No. 39 他)

世代間の交流や趣味を広げ、楽しみながら生きがいがづくりに取り組めるよう、高齢者いきいきフェアをはじめ、生きがい創作講座、親子チャレンジ講座、文化講座等を開催した。また、ふれあいコンサートや似顔絵展を開催し、利用者にやすらぎの場を提供した。

・生きがい創作教室 利用人数：9,001人 (28年度 11,693人)

#### (5) 体力づくり教室事業(けんこうスポーツセンター) (中期事業 No. 30)

様々な年齢や体力に合わせた、フラダンス、キッズダンス等の健康教室および初・中級者向けのテニス教室や水泳教室を開催した。また、利用者ニーズに対応した教室を開催し体力づくりの実践指導を行った。

・体力づくり教室受講者数：60,630人 (28年度 62,611人)

#### (6) 施設の提供事業 (中期事業 No. 4 他)

##### ア 県民健康センター

健康の増進に関する会議、研修等に会議室等の施設を提供した。利用者は、1200人で前年度と比較して61.5%の増加となった。

	29年度(人)	28年度(人)	比較増減	比較増減率(%)
県民健康センター 会議室・研修室	1,200	743	457	61.5
計	1,200	743	457	61.5

##### イ けんこうスポーツセンター

温水プールやトレーニングジム、テニスコート等の屋内外の各種運動施設を効果的に活用することにより、子供から大人まで幅広い年齢層を対象に、楽しみながら運動を実践できる場を提供した。利用者は、270,946人で、前年度と比較して5.9%の増加となった。

	29年度(人)	28年度(人)	比較増減	比較増減率(%)
けんこうスポーツセンター・温水プール	200,446	209,805	△9,359	△4.5
けんこうスポーツ公園	70,500	46,000	24,500	53.3
計	270,946	255,805	15,141	5.9

##### ウ 生きがい交流センター

「健康の森温泉」として、屋内外に季節感を演出したり、入浴に関する情報提供を充実させるなど、独自色をアピールすることにより他の施設との差別化を図り、こころとからだが安らげる場を提供した。また、会議、研修等の場として交流ホール、ふれあい研修室等の施設を提供した。利用者は、118,481人であり、浴室床面張替工事の影響もあり、前年度と比較して21.3%の減少となった。

	29年度(人)	28年度(人)	比較増減	比較増減(%)
健康の森温泉	111,623	143,377	△31,754	△22.1
交流ホール等	6,858	7,153	△295	△4.1
計	118,481	150,530	△32,049	△21.3

### 3. 健康管理・健康づくりに関する広報、調査研究事業

がん検診を含めた生活習慣病予防・健康管理に関する事業と健康づくり・体力づくり・生きがいづくり推進事業に関する事業等、協会の事業全体の広報や調査研究を行った。

#### (1) 29年度で行った主な中期事業計画の取組み

##### ア 健康フェア開催事業(中期事業 No.44)

健康の森の存在をアピールするため、けんこうスポーツセンター、生きがい交流センターの拠点連携による健康フェアを開催。また、福井テレビ主催の“わんぱくフェア”の会場誘致をはじめブース出展等、積極的に協力し、来場者に“ふくい健康の森”をアピールした。

事業経費 887千円

・利用者感謝デー「けんもりふえすた」 10/29

来館者数 スポーツセンター 2,053人 生きがい交流センター 1,203人

(28年度実績 スポーツセンター 2,318人 生きがい交流センター 1,172人)

・わんぱくフェア参加者数： 27,000人

##### イ がんに関する広報事業(中期事業 No.13)

組織一体となった広報活動を行い、迅速で確実な情報を発信した。

事業経費 1,858千円

・テレビ番組による啓発 5分間番組×放送5回

##### ウ “健康の森温泉”リニューアルに伴う広報活動(中期事業 No.55)

生きがい交流センター浴室床の総張替を行うのに併せ、健康の森温泉リニューアルの広報活動を実施した。

事業経費 1,438千円

#### (2) 研究・研修事業

がん検診に関する読影精度の向上など健康管理・健康づくりの技術の進歩を図るため、各部位別研究会等を開催し、研究成果を発表した。

・胃・大腸検診研究会 他 17回 参加者970人(28年度実績 898人)

・日本乳癌検診学会学術総会発表 他 参加9回 計26回

#### (3) 広報活動

##### ア 情報誌等の発行

“健康の森通信”の内容を充実強化し、健康の森を県民の健康づくりの発信地として情報提供を行い、協会のイメージアップを図った。

・10,000部×4回 発行 配布先 児童館・ショッピングセンター等 400カ所

##### イ ホームページによる情報提供

ホームページを積極的に活用し、情報サービスの質的アップと協会運営の透明化を図った。

・LINE 会員メール配信数 35回 会員数 349名

##### ウ ロゴ・マスコットキャラクターの活用

ノベルティーの作成およびイベント等での着ぐるみの活用による広報を実施した。

・テレビ番組、イベント等 9回

##### エ イベントの開催

“けんもりふえすた”等のイベントを実施しふくい健康の森をアピールし利用促進を図った。

### 4. 事業報告付属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する付属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項:なし